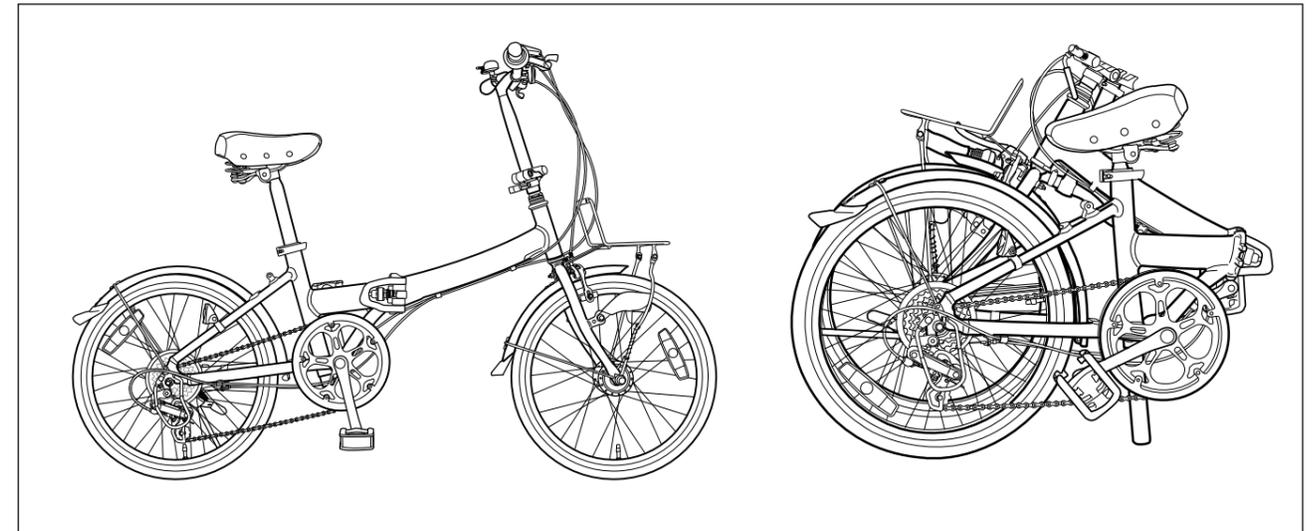


## 取扱説明書 折りたたみ自転車

### ビーンズハウス

品番 B-BH063



※イラストは、イメージ図を使用しています。形状やデザインが、お買い上げいただいた自転車と異なる場合があります。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡しください。
- お子様がお使いになる場合は、保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい乗りかたをご指導ください

#### お願い

- この自転車は、通勤、通学、買い物などの日常生活用として設計されています。新聞配達など、業務用としてご使用にならないでください。
- 安全のため、ヘルメットの着用をお勧めします。
- 万が一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。
- 必ず、販売店で防犯登録の申請手続きを行ってください。(法令で義務付けられています。)

#### お知らせ

- この自転車に幼児用座席を取付けることはできません。

#### 保証書別添付

#### 【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】

- ・お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修理確認などのために利用し、残すことがあります。
- ・個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
- ・ナンバー・ディスプレイを採用し、折り返し電話させていただくことがあります。(お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。)

修理・取扱い・手入れなどは**まず、お買い上げの販売店へ**ご相談ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記窓口にご相談ください。

東 北 地区 (022) 382-7791 東京・神奈川・千葉地区 (0422) 34-4117  
 埼玉・群馬・新潟地区 (0480) 93-8071 栃木・茨城地区 (0286) 52-5046  
 中部(新潟除く)・東海地区 (0587) 54-4111 近畿地区 (072) 975-4100  
 中国・四国地区 (082) 870-7776 九州・沖縄地区 (092) 621-9918

※受付時間 平日(土・日・祝日および年末年始等の連休を除く) 9:00～17:00

※上記の相談窓口が通じない場合や、北海道・北陸地区のお客様は、当社お客様相談室(下記)におかけください。

パナソニック サイクルテック株式会社お客様相談室  
 Tel : (072) 977-1603  
 受付時間 9:00～20:00

### パナソニック サイクルテック株式会社

〒582-8501 大阪府柏原市片山町13番13号

#### もくじ

乗るまえに

- 安全上のご注意 ..... 2
- 各部のなまえ ..... 8
- 乗るまえの準備 (組立手順) ..... 10
- 乗るまえの点検 ..... 14
- 乗るまえの調整 ..... 17
- 正しい取扱い方法 ..... 20

#### 乗りかた

- 乗ったあとは... (折りたたみ手順) ..... 24

#### 必要なとき

- 保管/廃棄 ..... 27
- お手入れ/注油について ..... 28
- 定期点検 ..... 30
- 盗難補償とアフターサービス ..... 31
- 自転車安全基準/BAAマーク ..... 32
- オプション (別売部品) ..... 33
- 仕様 ..... 34

# 安全上のご注意（1）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

気をつけていただく内容です。

## けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために次のことを守りましょう！

### 警告

■サドル高さは、上と下にあるはめ合せ限界標識の間で調整する

押下げ限界標識  
引上げ限界標識  
シートポストが折れたり、段差に引っ掛けて転倒によるけがのおそれがあります。

■改造や分解、また指定以外の注油はしない

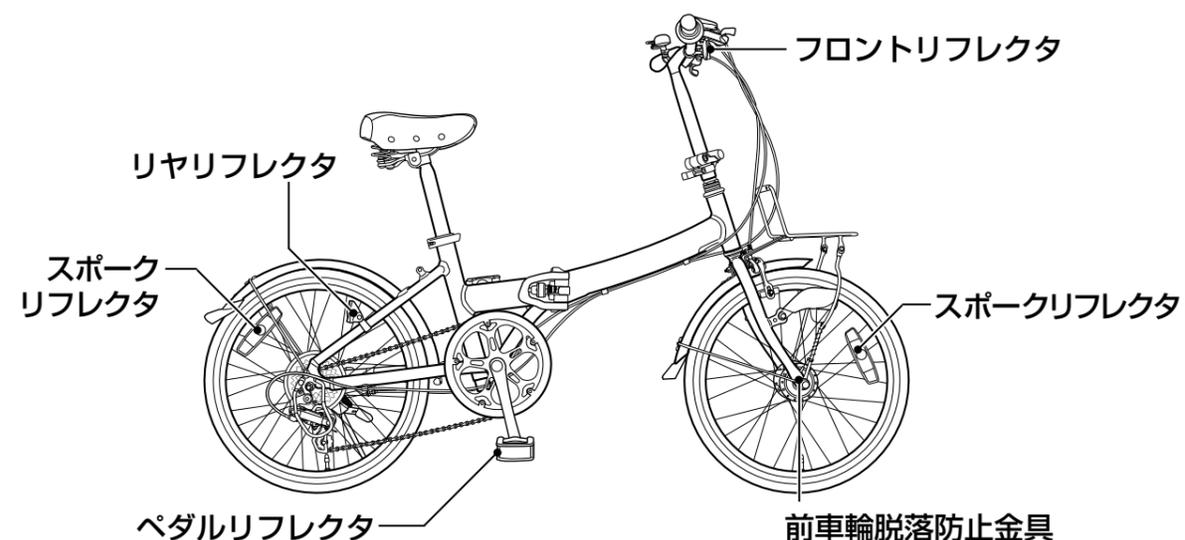
分解禁止  
部品の破損や、ブレーキが効かなくなると、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

■網棚には載せない

落下しやすく、事故発生によるけがのおそれがあります。  
●他の人に迷惑がかからないように車内の隅や足下に置いてください。

### 公共の交通機関（列車、バス、地下鉄等）を利用される場合のお願い

- ① オプションの輸行バッグに収納してください。
- ② 交通機関の係員の指示に従ってください。
- ③ 他のお客様のじゃまにならないように気をつけてください。
- ④ できるだけ安定した床面においてください。  
落下すると事故の原因になるので、網棚には載せないでください。
- ⑤ 自転車本体やオプションパーツについている警告マークや注意マークは、取り外さないでください。



### 警告

■安全装置は取り外さない

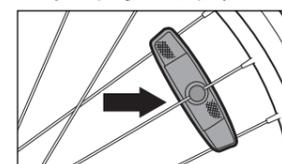
外したまま使用すると、事故発生によるけがのおそれがあります。

■ハブステップなどの突出物を装着しない

ハブステップ  
歩行者などに、危害をおよぼすおそれがあります。

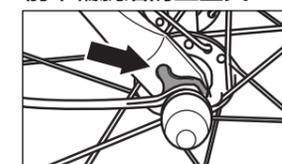
### 安全装置

スポークリフレクタ



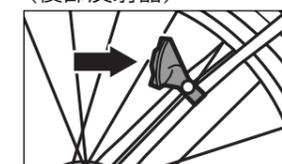
横からの光を反射します

前車輪脱落防止金具



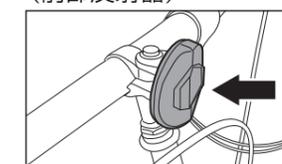
前車輪の脱落を防止します

リヤリフレクタ  
(後部反射器)



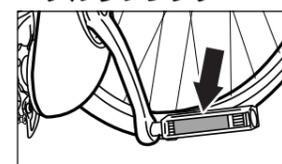
後からの光を反射します

フロントリフレクタ  
(前部反射器)



前からの光を反射します

ペダルリフレクタ



前後からの光を反射します

※リフレクタが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。  
(リヤリフレクタが破損したままでの夜間乗車は法令違反になります。)

# 安全上のご注意 (2)

必ずお守りください

乗るまえに

## ■乗るまえに

まず体に合わせてください

- 図のように販売店で調整してもらってください。
- 操作して確認してください。
  - ① 円滑なペダリングができる。
  - ② ブレーキや変速機が確実に操作できる。
  - ③ ハンドル操作が容易にできる。



ペダルはつま先で踏む つま先が地面に着くように

必ず点検をしてください

- 必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。
- わからないときは販売店に相談してください。
- 未組立及び未調整の自転車は使用しないでください。



安全な服装で乗ってください

(車輪に巻き込まれやすい服装はしない)

- ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへの引っかかり等を防止するために、チェーンやギヤがむき出しの自転車に乗るときは、ズボンの裾をズボンバンドで止めてください。
- 児童(13歳未満の者)・幼児の保護者は、お子様が乗車するとき、かならずヘルメットをかぶらせてください。



乗る練習は必ず行ってください

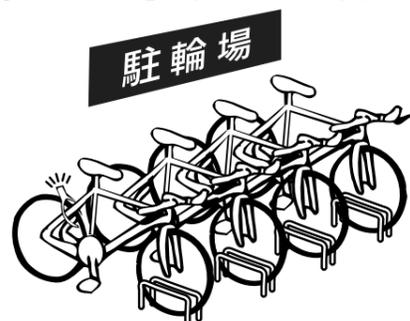
- 練習を空地や公園など安全な場所で、行ってください。
- よく練習してから一般道路でお乗りください。



## ■乗ったあとは

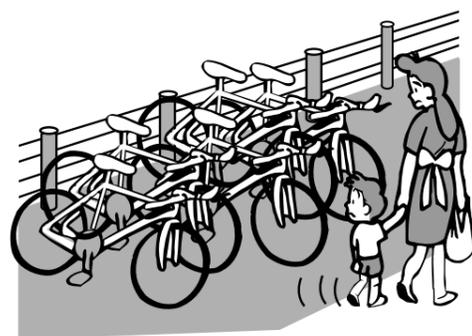
決められた場所に駐輪してください

- 駐輪するときは、他の人に迷惑にならないよう、決められた場所にとめましょう。
- 盗難防止のため、必ず鍵をかけましょう。



自転車放置禁止

- 自転車の放置は、他の人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。

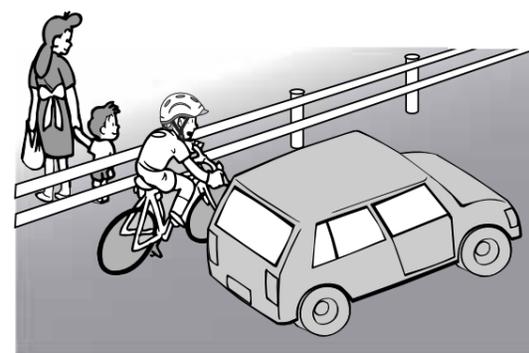


## ■自転車の交通安全ルールを守りましょう

※違反すると、道路交通法の罰則を受けることがあります。

自転車は、車道通行が原則です

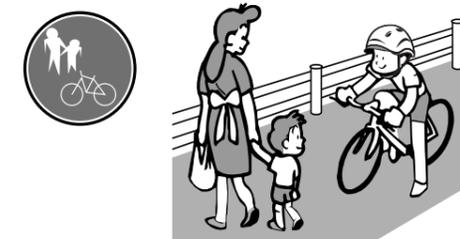
- 歩道と車道の区別のあるところは自転車は車道の左端に寄って通行しましょう。



次の様な場合は、歩道通行ができます

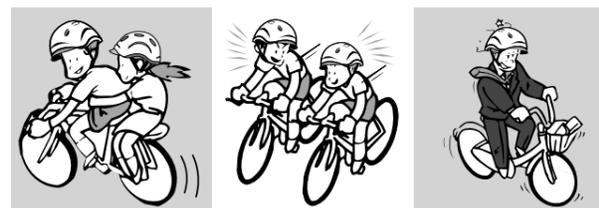
(その時にも歩道は歩行者優先、車道よりを徐行)

- 自転車歩道通行可の標識等で指定されている場合。
- 運転者が児童、幼児、70歳以上の場合。
- 車道や交通の状況からみてやむを得ない場合。



二人乗り、並進、飲酒運転は禁止

- 6歳未満の子供を幼児用座席に一人乗せる場合等を除き、二人乗りは禁止です。
- 「並進可」標識のある場所以外は並進は禁止です。
- 飲酒運転は禁止です。



交差点では一時停止と安全確認を

- 一時停止の標識を守り、広い道に出る時は、徐行と安全確認を。
- 信号機がある場合は、信号を必ず守りましょう。



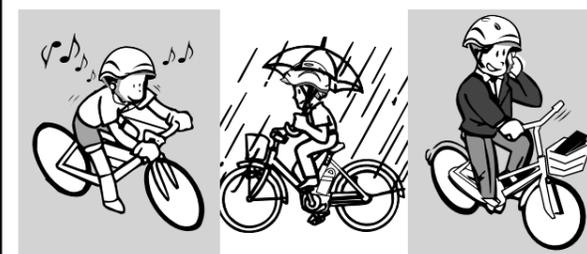
夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ライトを点灯して通行しましょう

- 夜の無灯火運転は交通違反です。
- 暗いところではライトを点けて通行しましょう。



次の様な運転はしない

- ヘッドフォンを使用しながらの運転。
- 傘さし運転。
- 携帯電話を操作しながらの運転。



乗るまえに

# 安全上のご注意 (3) 必ずお守りください

けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために、乗り方や交通ルールを守りましょう。

## 交通事故を防ぐために

自動車や子供に注意！  
安全を確認し、乗りましょう

車の横を走るときに！



開くドアや人の飛び出しに注意する



学校や公園が近くにあるときに！



子供の飛び出しに注意する



交差点を通るときに！



左折車に巻き込まれないように注意する



## 転倒事故を防ぐために

こんな時

■雨・風・雪のひどいときは乗らない



バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

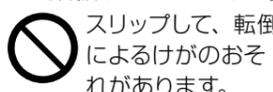
■合図以外は、ハンドルから手を離さない



バランスがとりにくく、転倒によるけがのおそれがあります。

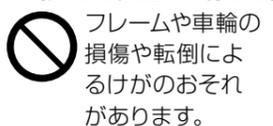
こんな場所

■滑りやすいところでは乗らない  
(積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど)



●降りて、押して歩いてください。

■凹凸の激しいところを走らない  
(歩道の段差や、溝など)



●降りて、押して歩いてください。

こんな乗り方

■巻き込みやすい物を車輪やギヤに近接させて乗らない  
(長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど)



車輪やギヤに巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。

■かさやステッキ、釣りざお等を車体に差し込んだり、釣り下げたりして乗らない



車輪に巻き込んだり、他の人や物にぶつけて事故や転倒によるけがのおそれがあります。

■滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない



ペダルから足が外れ、転倒によるけがのおそれがあります。

■手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつながない



荷物やひもが、車輪に巻き込まれたり、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

■土踏まずやかかとでペダルを踏まない



カーブでつま先が前車輪あたり転倒によるけがのおそれがあります。

■カーブで曲がる側のペダルを下げない



ペダルが地面と接触し、転倒によるけがのおそれがあります。

こんな使い方

■走行以外に使わない  
(踏み台代わりなど)



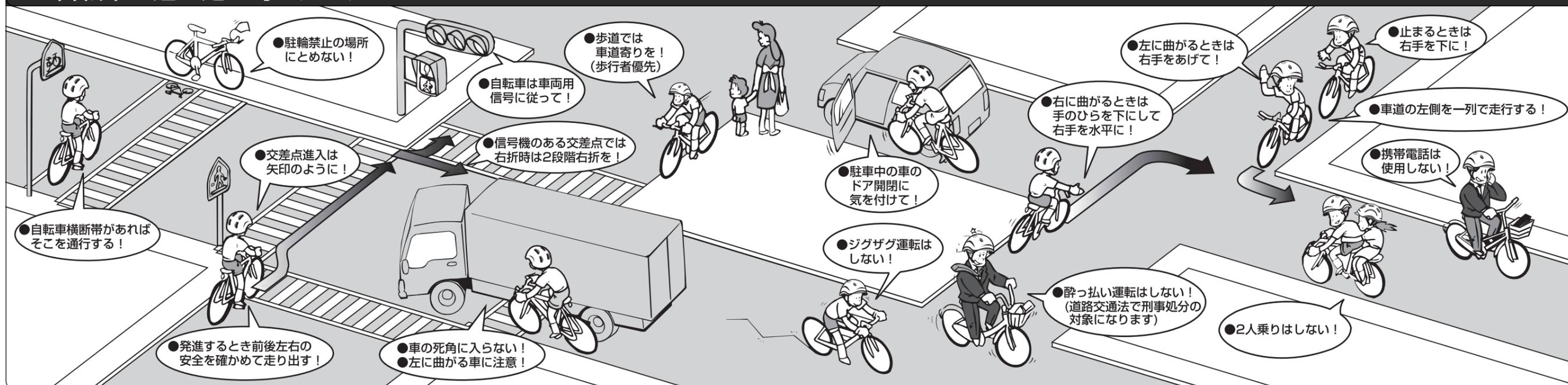
転倒によるけがのおそれがあります。

■スポークの間に固形物(ボールなど)を入れて走らない



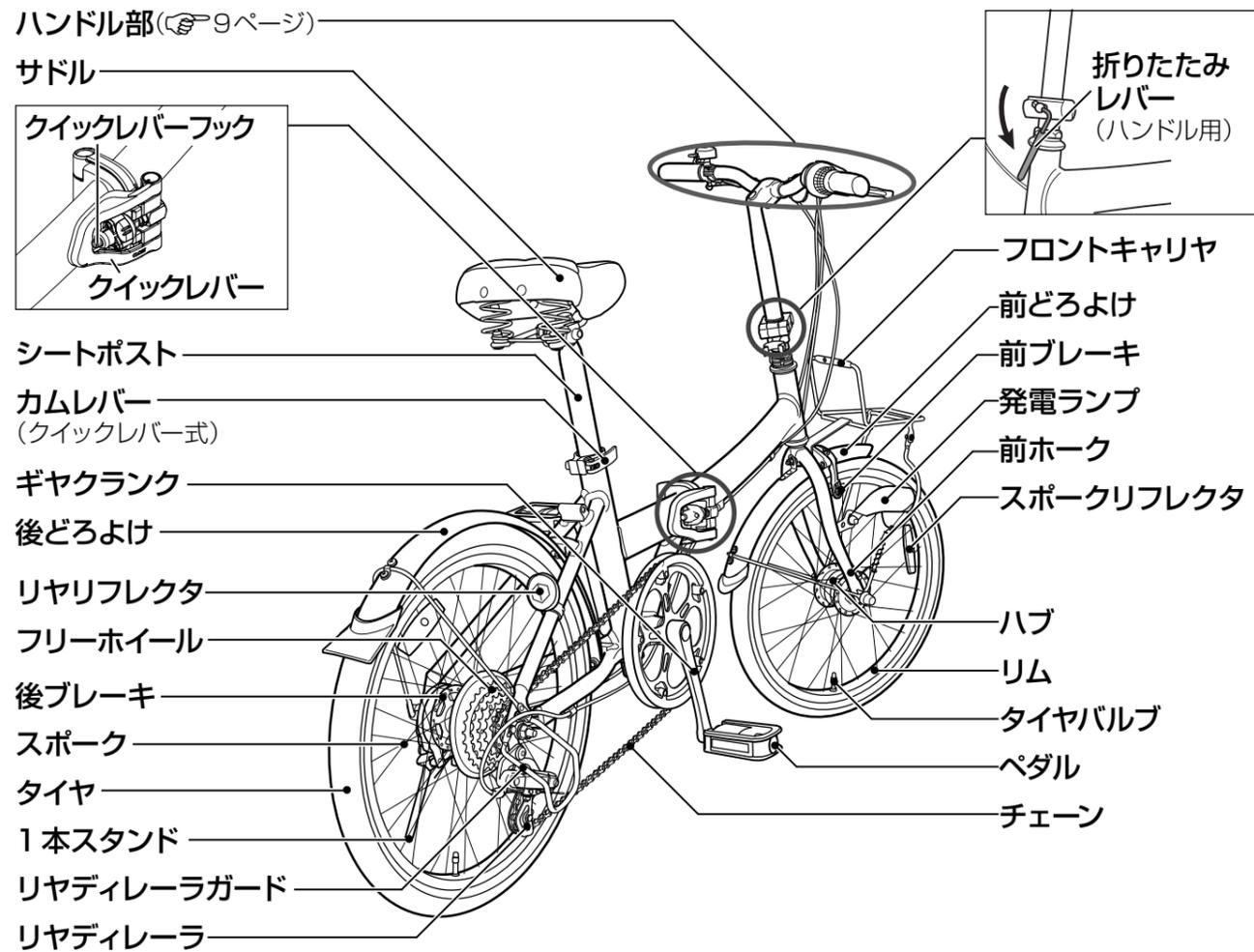
車輪に巻き込まれて転倒によるけがのおそれがあります。

## 自転車で道を走る時のルール・マナー

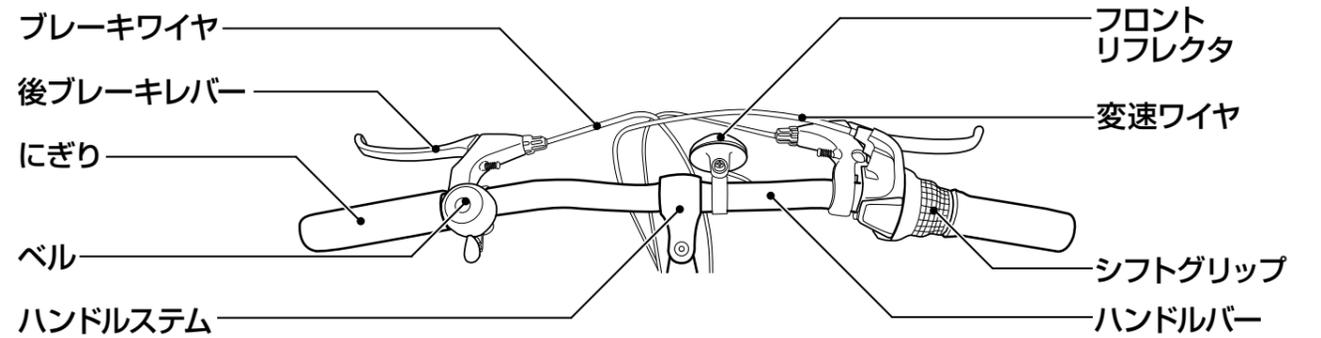


# 各部のなまえ

乗るまえに



乗るまえに



## ■付属品

**警告**

■走行時、ワイヤ錠を車輪の近くやハンドルにぶら下げない

⊘ スポークに巻き込んだり、ハンドルがとられて転倒によるけがのおそれがあります。

## ●ワイヤ錠 1本

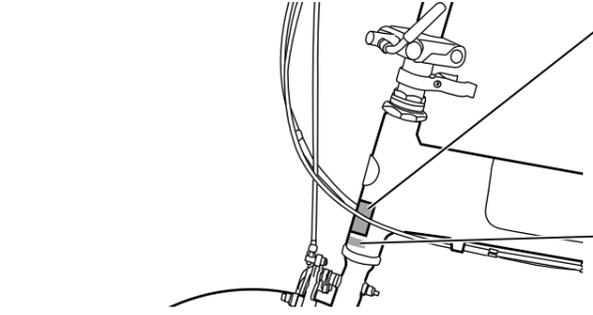


キー番号プレートは、ワイヤ錠から外して、別の場所に保管しておくことをお勧めします。

## ●締付けバンド 2本

## ●取扱説明書/保証書

**お知らせ** ●忘れ防止のため、本書27ページにキー番号を控えておくことをお勧めします。



## ■車種品番表示

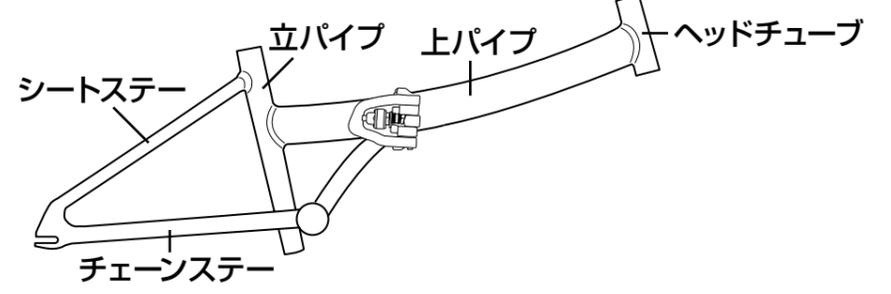
### ●車種品番の見方

**B-BH063** **B**  
車種品番 色

### ■車体番号(刻印位置 右側)

防犯登録に必要で、9文字(数字と英字)で表示しています。

## ■フレーム体



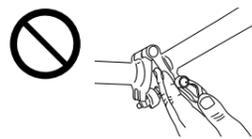
乗るまえに

乗るまえに

## 1. 車両本体(車体部)を組立てる

### 警告

■メインパイプのジョイント部分を持って開閉しない



指や手をはさんでけがをするおそれがあります。

■クイックレバーフックをかけて走行する



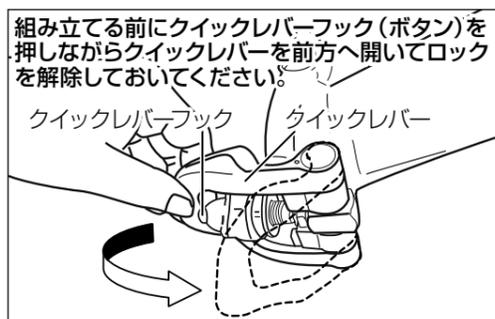
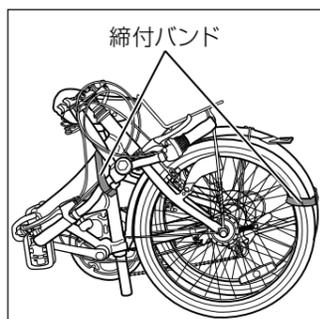
転倒によるけがのおそれがあります。

■固定ナットが奥まで確実にハマっているか確認する

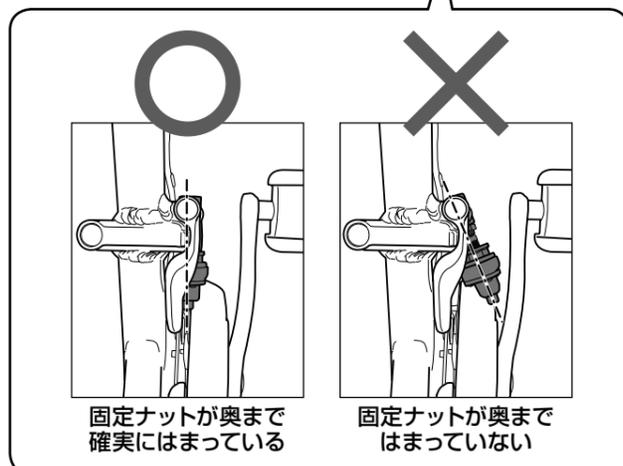
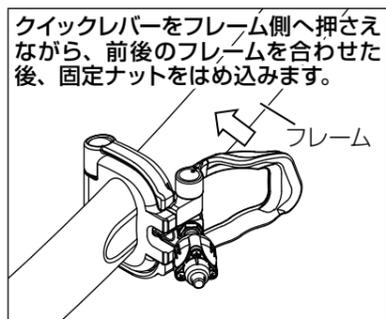
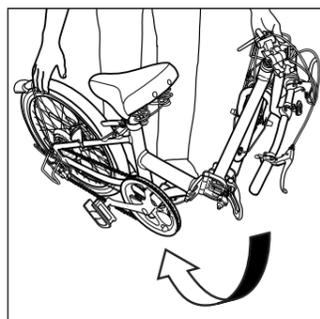


メインパイプのジョイント部分が開き、転倒によるけがのおそれがあります。

### ① 締付バンドをはずす。



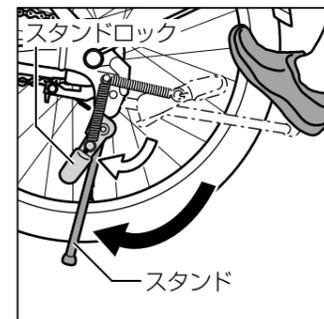
### ② 二つ折りになっている自転車を開き、仮固定する。



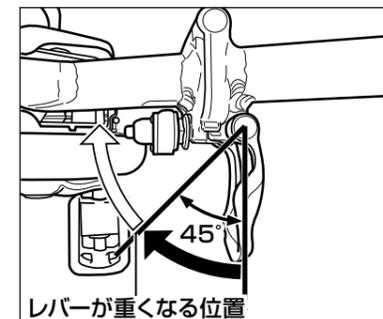
固定ナットが奥まで確実にハマっている

固定ナットが奥までハマっていない

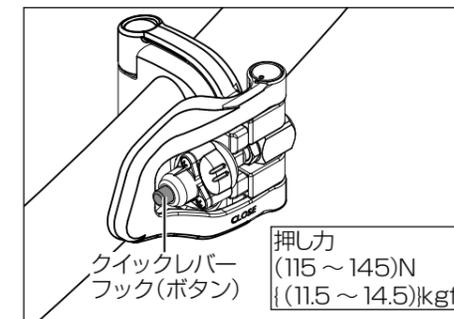
### ③ スタンドを立てる。



### ④ クイックレバーを後方へ倒す。



### ⑤ クイックレバーを確実に閉め込み、クイックレバーフック(ボタン)に引っ掛ける。



押し力  
(115 ~ 145)N  
{(11.5 ~ 14.5)kgf}

### お知らせ

- クイックレバーの回転が、後方 45° の位置を越えても手ごたえがない場合は、販売店に固定ナットの調整をご依頼ください。
- 車両本体を組立後、フレームにがたつきがないか確認してください。

## 2. ハンドルを組み立てる

### 警告

■ジョイント部分を持ってハンドルを起こさない



指や手をはさんでけがをするおそれがあります。

■折りたたみレバーは必ず締め付けた状態で走行する



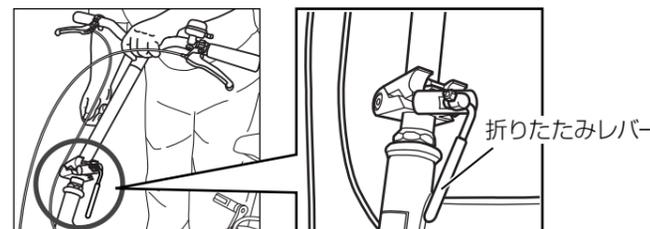
走行中、ハンドルが折れ曲がり、転倒によるけがのおそれがあります。

■ハンドルの締付を確認せずに乗らない

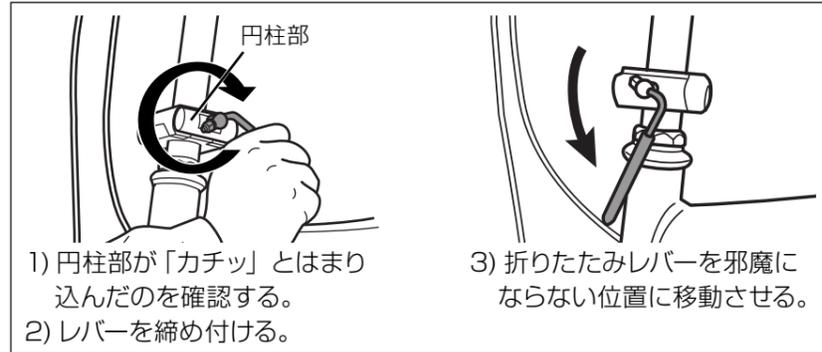


走行中、ハンドルが折れ曲がり、転倒によるけがのおそれがあります。

### ① ハンドルを起こす。(折りたたみレバーのねじは緩めておいてください。)



② 折りたたみレバーは、時計方向にカーブ締め付けた後、邪魔にならない位置に移動させる。  
(レバー先端に約 150 N {15 kgf} 以上の力で締め付けてください。)



**お願い**

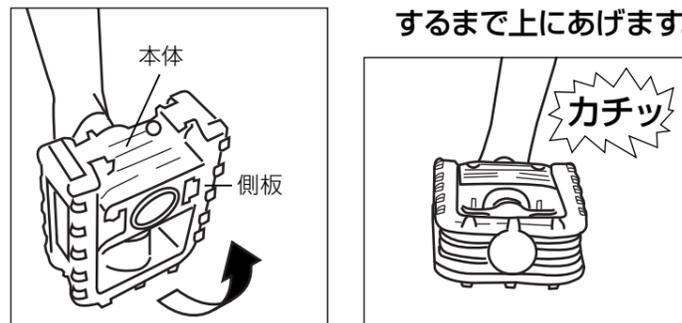
- 組立後は、ハンドルが確実に固定され、がたつきがないことを確認してください。
- 折りたたみレバーがブレーキワイヤ等に引っ掛からないようご注意ください。

**お知らせ**

- ハンドルの高さは調整できません。

### 3. 左右のペダルを組み立てる

① 側板を水平に上げる。 ② 側板を「カチッ」と音がるまで上にあげます。



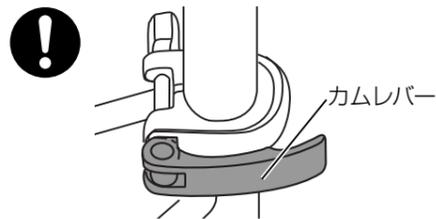
**警告**

- 側板と本体の間に指を入れない  
指や手をはさんでけがをするおそれがあります。
- 組立後はがたつきがないか点検する
- 踏み外して転倒によるけがのおそれがあります。

### 4. サドルの位置を調整する

**警告**

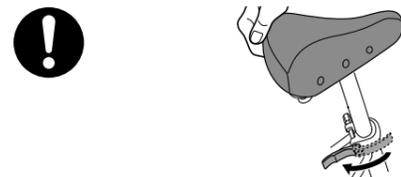
■ カムレバーは、前方向に確実に倒す



固定が外れ、転倒によるけがのおそれがあります。

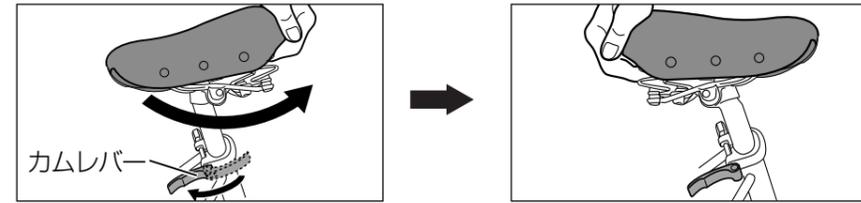
**注意**

■ カムレバーを起こすときは、サドルを支え持つ

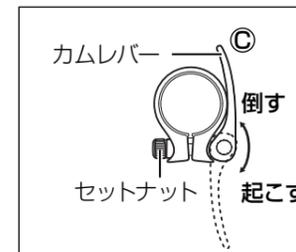


サドルが落下し、手や指をはさんでけがをするおそれがあります。

① サドルを支え持ちながらカムレバーを起こし、サドルを前方向に回転させます。



② セットナットを回転させ、固定の強さを調整する。



クイックシートピンでシートポストを固定するとき、カムレバーが、◎の位置でシートポストの固定がゆるい場合はカムレバーをいったん起こし、セットナットを1/2～1回転締め込み、再度カムレバーを◎の位置まで倒してください。

**お願い**

- カムレバーを倒すときの力は、カムレバーの先端を手のひらで力いっぱい押込んで倒せるくらいが正常です。重すぎる場合や軽すぎる場合はセットナットで調整してください。

③ サドル前端が正しく進行方向を向く様、保持しながら、カムレバーを回転させずに、前方向に確実に倒す。



**警告**

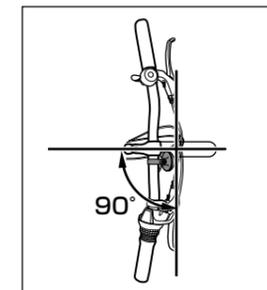
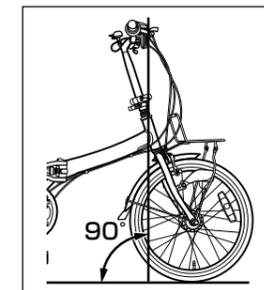
■ 調整後は必ずがたつきやずれがないか点検をする



シートポストが折れたり、固定が不安定になり、転倒によるけがのおそれがあります。

### 5. フロントリフレクタの角度調整

反射面が地面及び前車輪に対して直角になっているか確認してください。



**お願い**

- 直角になっていない場合は、販売店に調整をご依頼ください。

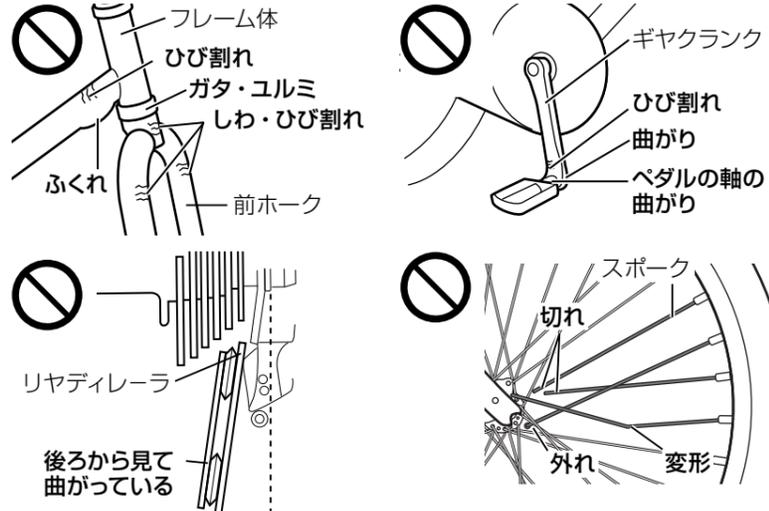
# 乗るまえの点検 (1)

わからないときは、販売店にご相談ください。

安全にご乗車いただくため、乗るまえにつきの点検、調整と走行テストを実施する習慣をつけましょう。

## 警告

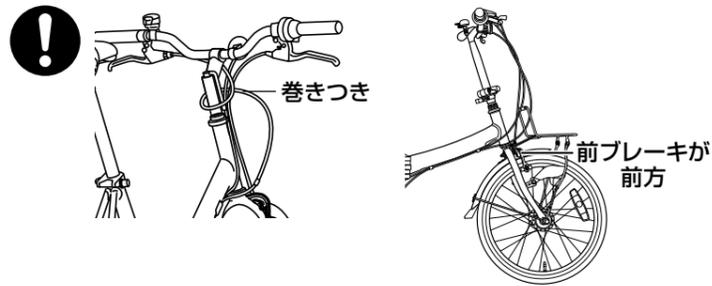
### ■各部にガタやユルミおよび、変形・ひび割れ等があるときは乗らない



折れて転倒によるけがのおそれがあります。

- ひび割れや変形を見つけたら、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検、交換をしてください。
- 前ホークは衝突などの強い力を受けたとき、変形することによって乗員や車体への衝撃を和らげるように設計してあります。衝突や転倒など強い衝撃が加わった後は、前ホークに変形やひび割れなどの異常がないか点検してください。
- スポークが1本でも切れたまま使用を続けると、他のスポークに負担がかかり寿命が短くなります。切れたスポークは直ちに交換してください。できれば、すべてのスポークを交換されることをお勧めします。
- ハンドルを締め付けてもガタ・ユルミがあるときは、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検をしてください。

### ■前車輪の方向およびブレーキワイヤが、ハンドルステムやフレームに巻きついていないかを確認する



ブレーキの効きすぎまたは、効かなくなり、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

### ■乗るまえの点検は、必ず実施する

- 事故や転倒によるけがのおそれがあります。
- 前後ブレーキの効き、作動の点検をしてください。
- ハンドル・ハンドルステムが、確実に固定されているか点検してください。
- 前後車輪が、確実に固定されているか点検してください。
- 前後タイヤの空気圧が適正か点検してください。

### ■点検で変形や曲がり、ひび割れなどの異常があったときは乗らない

- 事故や転倒によるけがのおそれがあります。
- 異常があったときは販売店にご相談ください。

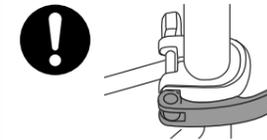
## ■サドルの高さ

### 警告

#### ■上と下にあるはめ合せ限界標識の間で、調整する



#### ■カムレバーは、前方向に確実に倒す



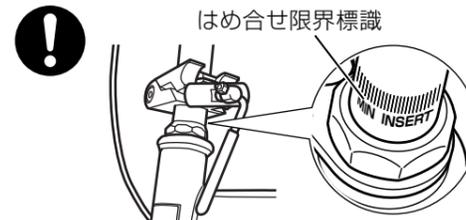
シートポストが折れたり、段差に引っ掛けて、転倒するおそれがあります。

- ◎上の押下げ限界標識が見えているか？
- ◎下の引上げ限界標識が、見えていないか？
- ◎シートポストの固定は確実か？
- ◎サドルに座って、両足のつま先が地面につくか？
- ◎ペダルをこぐとき、ひざがハンドルに当たらないか？

## ■ハンドルの点検

### 警告

#### ■ハンドルステムははめ合わせ限界標識が見えていないかを確認する



ハンドルステムが折れて転倒によるけがのおそれがあります。

#### お知らせ

- ハンドルの高さは調整できません。

# 乗るまえの点検 (2)

# 乗るまえの調整 (1)

乗るまえに

乗るまえに

## ジョイント部の固定

- ◎がたつきがないか?
- ◎クイックレバーは、クイックレバーフックに引っ掛かっているか?

- にぎり〈左・右〉
- ◎ひび割れはないか?
  - ◎抜けないか?

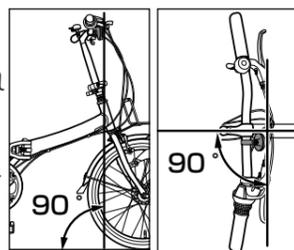
- ベル
- ◎よく鳴るか?

## ハンドル・ハンドルステム

- ◎固定は確実か?
- ハンドルの高さ調整はできません。

## フロントリフレクタ

- ◎割れや、汚れはないか?
- ◎前からの光を反射する角度になっているか?



## ブレーキレバー〈前後〉 (☞ 18~19ページ)

- ◎よく効くか?
- ◎ワイヤのさびやほつれはないか?
- ・固定は確実か? ・作動は円滑か?

## ハンドル折りたたみ部

- ◎ハンドル折りたたみレバーは邪魔にならない位置に収まっているか?



## 前ブレーキ(ブレーキブロック) (☞ 18~19ページ)

- ◎すりへっていないか?
- ◎異物は付いていないか?

## 発電ランプ (☞ 23ページ)

- ◎点灯するか?
- ◎がたつきはないか?
- ◎取付角度は適切か?

## スポークリフレクタ

- ◎割れやがたつきは、ないか?

## ハブナット

- ◎車輪にがたつきは、ないか?

## ギヤクラック

- ◎がたつきは、ないか?
- ◎ひび割れや曲がりはないか?

## ペダル

- ◎側板の固定は確実か?

## ペダルリフレクタ

- ◎割れやがたつき、汚れはないか?

## チェーン

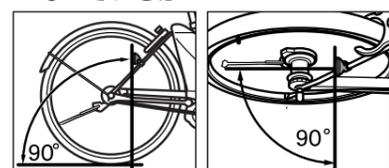
- ◎空回りしないか?
- ◎小石等が挟まってないか?
- ◎歯飛びや異常な音(バリバリ音等)はないか?
- ◎油切れはないか?

## リヤディレーラ

- ◎後から見て曲がりはないか?

## リヤリフレクタ

- ◎割れや、汚れはないか?
- ◎後からの光を反射する角度になっているか?



## 車輪〈前・後〉

- ◎リム……振れ、変形はないか?
- ◎スポーク……曲がり、折れはないか?
- ◎ハブ……がたつきはないか?

- ◎タイヤ……摩耗、切傷はないか?
- 異物は付いていないか?
- 空気圧は適正か?
- (☞ 19ページ)

## ■サドルの調整

### 警告

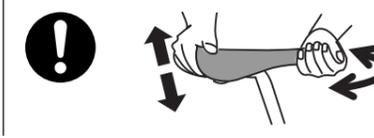
- 上と下にあるはめ合せ限界標識の間で、調整する



- カムレバーを回転させて締めつけない



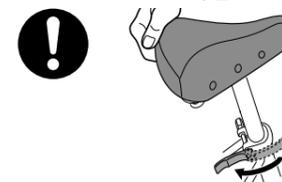
- 調整後は必ずがたつきやずれがないか点検をする



シートポストが折れたり、固定が不安定になり、転倒によるけがのおそれがあります。

### 注意

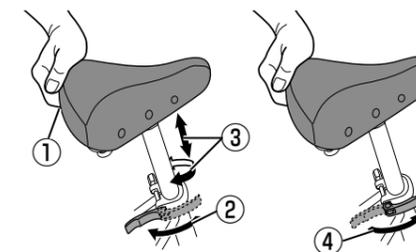
- カムレバーを起こすときは、サドルを支え持つ



サドルが落下し、手や指をはさむおそれがあります。

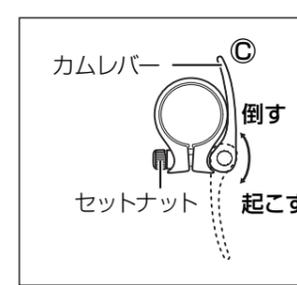
### ●高さとの調整

- ①サドルを支え持つ。
- ②カムレバーを後方向に起こす
- ③サドルの高さと向きを調整する。
- ④カムレバーを倒す。



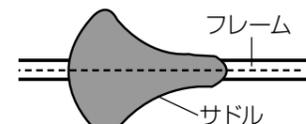
### ●カムレバーの調整

- ※シートピンの固定の調整は、カムレバーを起こして、セットナットを回転させて行ってください。



クイックシートピンでシートポストを固定するとき、カムレバーが、◎の位置でシートポストの固定がゆるい場合はカムレバーをいったん起こし、セットナットを1/2~1回転締め込み、再度カムレバーを◎の位置まで倒してください。

### ●サドルの正しい方向と角度



フレームと平行に合わせる。



サドルの上面と地面を平行にする。

### お願い

- 角度の調整は販売店にご相談ください。

# 乗るまえの調整 (2)

わからないときは、販売店にご相談ください。

## ■ブレーキの調整 (販売店に依頼してください。)

### 警告

#### ■ブレーキレバーの遊びが大きいまや、小さいままで走行しない

- ブレーキが効かなくなったり、効き過ぎたりすることがあり、転倒や衝突によるけがの原因になります。
- ブレーキが効かないときやブレーキレバーの遊びが不適切なときは、すぐに販売店で点検を受けてください。

#### ■ロックナットは確実に締め付ける

- ブレーキの調整が狂い転倒や衝突によるけがの原因になります。

#### ■ローラーブレーキグリスの補給には、必ずローラーブレーキ専用グリスを使用する

- 制動力が低下し、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。
- 販売店でローラーブレーキ専用グリス (当社品番: NBP002) を補給してください。

#### ■音鳴りがしたり、ブレーキの効きが強すぎる場合は使用しない

- 転倒や衝突によるけがの原因になります。
- すぐに販売店で点検を受けてください。

### 注意

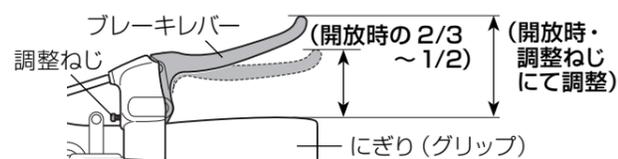
#### ■走行直後は、ブレーキ部に手を触れない

- ブレーキ部が高温になり、やけどの原因になります。
- 接触禁止

※下記はブレーキの調整ねじを使用した応急的な調整方法です。販売店でブレーキワイヤを張り直すなど、点検・再調整を行ってください。

#### ●ブレーキレバーとグリップの間隔

ブレーキレバーとグリップの間隔は、開放時の 2/3 ~ 1/2 の位置で、ブレーキが効きだすように、調整する。

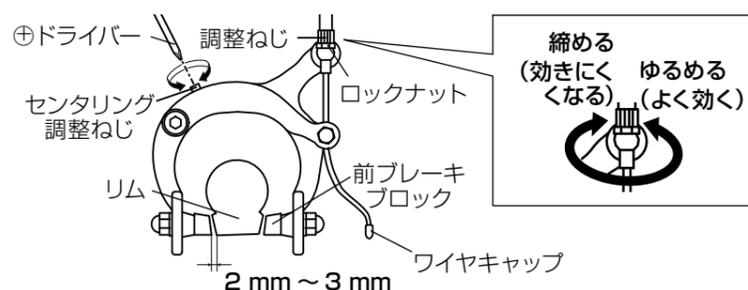


#### お願い

- 上記の調整範囲は目安です。調整後は必ずブレーキテストをしてください。

#### ●前ブレーキ

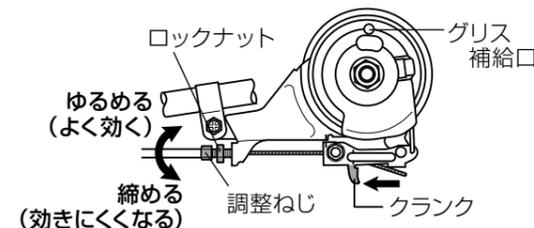
- ①ロックナットをゆるめる。
- ②調整ねじを回す。
- ③センタリング調整ねじで、リムと前ブレーキブロックのすき間が左右均等になるように調整する。
- ④走行してブレーキの効きを確認する。
- ⑤調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを適正締め付トルクまで締め付ける。



締め付トルク 1 N・m ~ 2 N・m {10 kgf・cm ~ 20 kgf・cm}

#### ●後ブレーキ (ローラーブレーキ)

- ①ロックナットをゆるめる。
  - ②クランクを押しながら、調整ねじを回す。
  - ③ブレーキの効きを確認する。
  - ④調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを適正締め付トルクまで締め付ける。
- 締め付トルク 1 N・m ~ 2 N・m {10 kgf・cm ~ 20 kgf・cm}



#### お願い

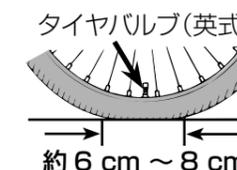
- 確実な制動力を得るために、通常 1 ~ 2 年に 1 回程度は販売店でローラーブレーキ専用グリスを補給してください。
- ブレーキ調整が不適切な場合、ブレーキが効き過ぎたり、逆に効かないことがあります。また、使用によるなじみや摩耗で、ブレーキの効き具合が変わります。ブレーキが効きにくい場合は、販売店で点検を受けてください。

## ■空気圧の調整 (前後のタイヤ)

#### ●適正な空気圧

自転車に乗った状態で接地部の長さが、約 6 cm ~ 8 cm 程度が、適正です。圧力計のついたポンプでは、空気圧の測定が可能です。

300 kPa ~ 450 kPa {3.0 kgf/cm<sup>2</sup> ~ 4.5 kgf/cm<sup>2</sup>} が適正です。



#### ご注意

- 空気圧が少ないとパンクや、タイヤ、リムを損傷させる原因になります。

#### お知らせ

- 空気圧は自然に減ります。
- タイヤバルブの型式は、英式です。

#### ●空気の入れ方

自転車用のポンプを使って空気を入れます。

## ■タイヤについて

#### お願い

- ストーブなどの熱源の近くに置かないでください。
- ガソリン・有機溶剤・油類が付着したときは、すぐふき取ってください。
- 走行前にタイヤに異物が刺さっていないか点検してください。パンクやタイヤ・リムを損傷させる原因になります。
- タイヤの空気圧は 300kPa {3.0kgf/cm<sup>2</sup>} 未満では使用しないでください。タイヤのひび割れ、偏摩耗やパンクの原因になります。

# 正しい取扱い方法 (1)

わからないときは、販売店にご相談ください。

## ■変速のしかた



**警告**

### ■スピードをだしすぎない

標準常用速度 10 km/h ~ 15 km/h

衝突や転倒によるけがの原因になります。

### ■漕ぐ力を抜いて、ペダルを空転気味に軽く回転させながら変速操作をする

間違った変速操作をすると事故によるけがの原因になります。

●初めて変速機を使われる人は、よく練習してください。

### ■次のような変速はしない

- ペダルを止めたままの変速
- 一気に2段以上の変速
- 停止しているときの変速

- ペダルを逆転させながらの変速
- ペダルを強く踏みこみながらの変速
- シフトグリップを無理に操作させる変速

事故によるけがの原因になります。

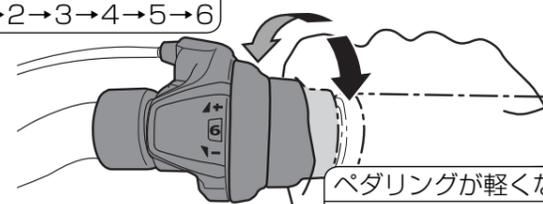
### お願い

- 変速操作は、よく練習してください。
- スムーズに変速ができるか確認し、調子が悪いときはお近くの自転車店にご相談ください。

## ●シフトグリップ表示とギヤの位置

### ●右グリップ (後変速機 / 6段)

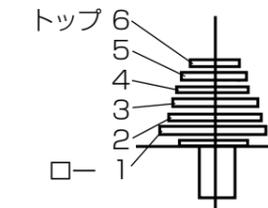
ペダリングが重くなる  
1→2→3→4→5→6



ペダリングが軽くなる  
6→5→4→3→2→1

### ●後ギヤ (後変速機 / 6段)

ペダリングが重くなる  
1→2→3→4→5→6



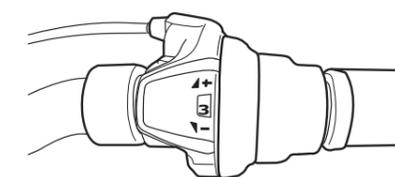
下り坂・追い風  
上り坂・向い風

ペダリングが軽くなる  
6→5→4→3→2→1

### 平地を走るとき



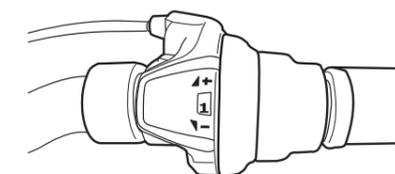
3または4の位置にあわせる。



### 上り坂のとき



坂の手前で...  
1または2の位置にあわせる。

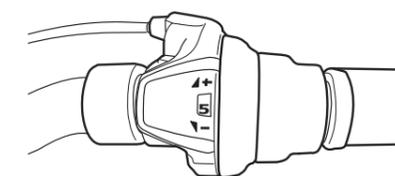


●急な坂道のとき  
⇒降りて押す。

### 下り坂のとき



坂の手前で...  
5または6の位置にあわせる。

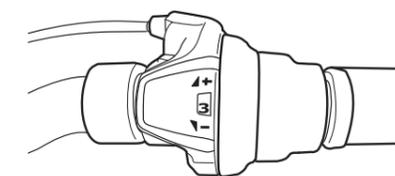


●急な坂道のとき  
⇒降りて押す。

### 停止するとき



停止する手前で...  
3または4の位置にあわせる。



次の発進が楽になります。  
●後ブレーキを先にかける。  
●駐輪禁止の場所には駐輪しない。

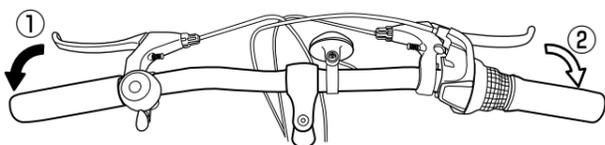
●変速機は、坂や風の状態、体調等によって変速し、最適の位置を選んでください。

# 正しい取扱い方法 (2)

わからないときは、販売店にご相談ください。

## ■ ブレーキのかけかた

- ①後ブレーキを先にかけてから
- ②前ブレーキをかける。



### お願い

- 急な坂道の場合は、降りて押してください。
- 下り坂のときは、適時ブレーキをかけながら速度がすぎないように走行してください。
- 雨天時や下り坂ではスピードを出さない
- ブレーキが効きにくく、スリップしやすいため、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
- 下り坂の手前では、ブレーキテストを行ってください。
- 急ブレーキをかけなくてもよいように、いつも前方に注意してください。

### 警告

- 雨天時や下り坂ではスピードを出さない
- ブレーキが効きにくく、スリップしやすいため、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

## ■ フロントキャリヤの取扱い

### 注意

### ■ 直接荷物を積まない

- 不安定でバランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。
- 当社純正オプションバスケットを装着してください。

## ■ ハブダイナモ式発電ランプの取扱い(コンパクト LED ビーム)

### 警告

### ■ ランプの取付がゆるんだまま、走行しない

- スポークに巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。
- 乗る前に点検してください。

### ■ 夜間や視界の悪いときは無灯火で乗らない

- 衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
- ランプがつかないときは、押して歩いてください。無灯火での乗車は、法令違反になります。

### ● コンパクト LED ビームの特長

発電機が車輪に組み込まれているハブダイナモ式発電ランプで、ハイパワー LED と非球面レンズを搭載しています。センサーが周囲の明るさを感知して自動的に点灯し、消灯します。押し歩き時は、フラッシング照射 (点滅) します。



非球面レンズ

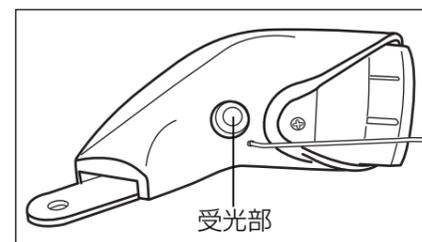
### お知らせ

- 内部の LED は交換できません。

### お願い

- レンズを回したり、取り外しをしないでください。本体が壊れる原因になります。

### ● 点灯確認のしかた (ON/OFF スイッチはありません)



受光部 (本体下部) に光が入らないように黒い紙等でふさいでから前車輪を回転させて、点灯することを確認してください。確認後は、受光部をふさいでいた黒い紙等を外してください。

### お願い

- 受光部が汚れたときは、柔らかい布でふき取ってください。受光部が汚れていると、センサーが誤作動を起こす場合があります。

### 警告

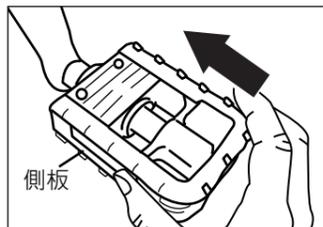
### ■ 点灯確認のとき指で受光部をふさがない

- 前車輪が回転しているときスポークに指が巻きこまれ、けがのおそれがあります。

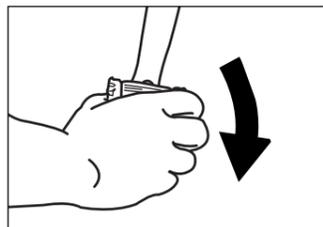
乗るまえに

### 1. ペダルを折りたたむ

①側板の外側を持って、本体に押し付ける。



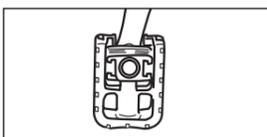
②側板を押し付けながら、下方向に側板を下げる。



### ⚠ 注意

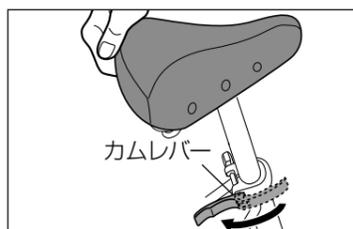
■側板の外側を持って作業する

❗ 手や指をはさんでけがをするおそれがあります。

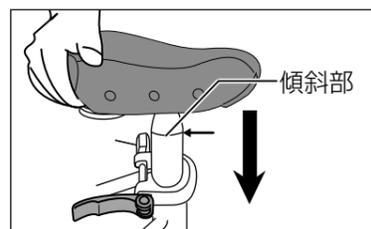


### 2. サドルを下げる

①サドルを支え持ちながらカムレバーを起こす。



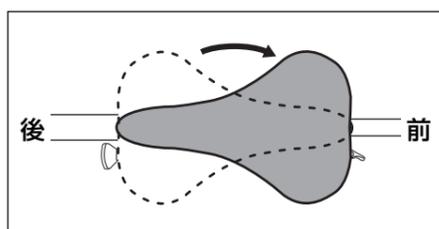
②サドルを下げる。



### お願い

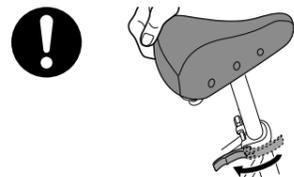
●シートポストの先端が、折りたたみ後の接地部となりますので、傾斜部が立パイプにかかる所まで、下げてください。

③サドルを後方に回転させ、カムレバーを回転させずに前方向に確実に倒す。



### ⚠ 注意

■カムレバーを起こすときは、サドルを支え持つ



❗ サドルが落下し、手や指をはさんでけがをするおそれがあります。

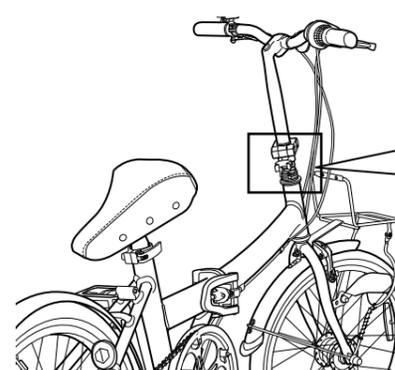
### 3. ハンドルを折りたたむ

### ⚠ 警告

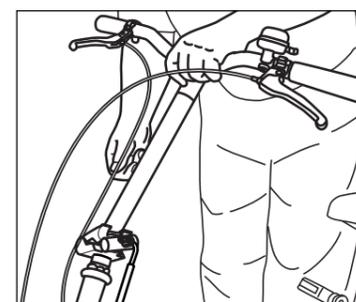
■ジョイント部分を持って折りたたまない

❗ 指や手をはさんでけがをするおそれがあります。

①折りたたみレバーを持ち上げ、反時計方向に回転させてゆるめる。



②ハンドルを折りたたむ。



### お願い

●ハンドルを折りたたむとき、ブレーキワイヤがジョイント部等に引っ掛からないようご注意ください。  
●ハンドルを折りたたんだ後、折りたたみレバーを最後まで締め付けてください。

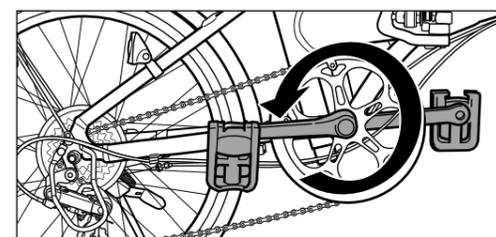
### 4. 車両本体 (車体部) を折りたたむ

### ⚠ 警告

■ジョイント部分を持って折りたたまない

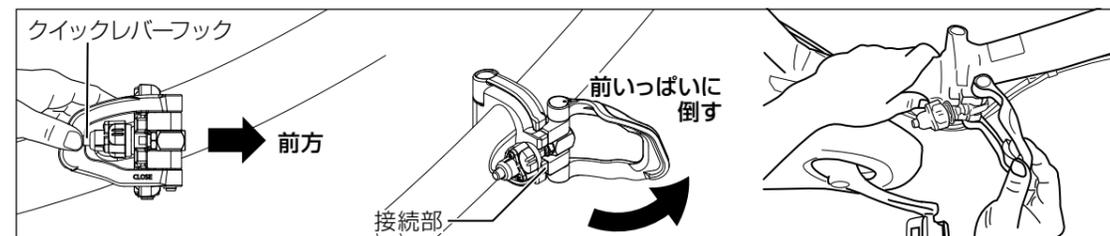
❗ 指や手をはさんでけがをするおそれがあります。

①右側のペダルが後方になるように、ギヤクランクを回転する。



乗りかた

②クイックレバーフック(ボタン)を押しながら、クイックレバーを進行方向(前方)へ倒す。



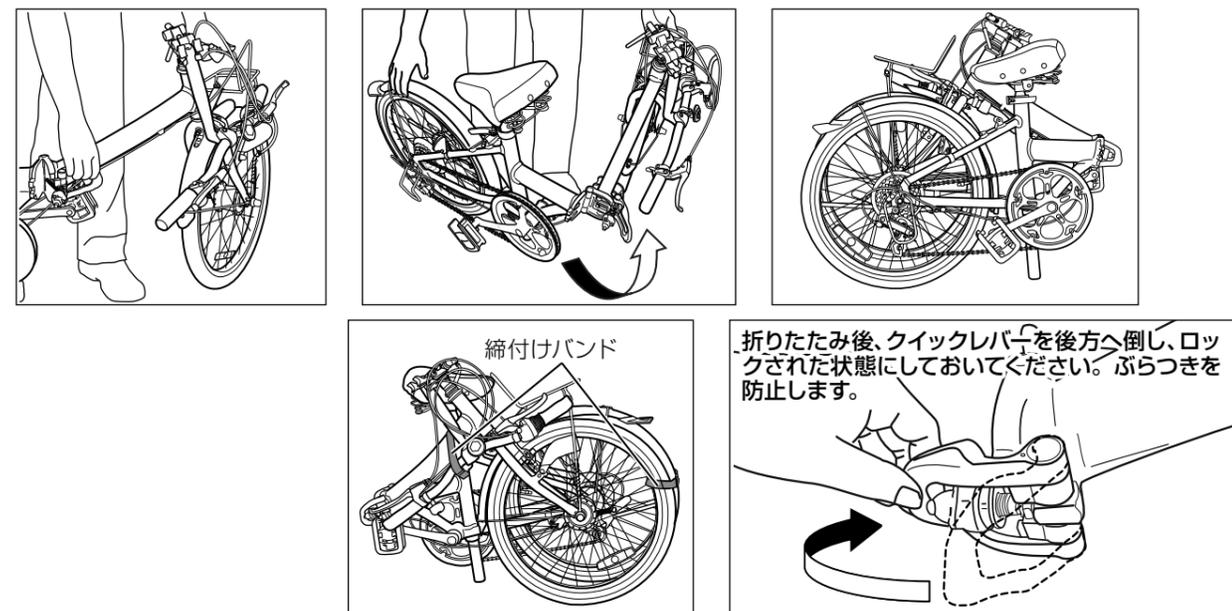
**お知らせ**

- クイックレバーを前いっぱい倒すと固定ナットはレバーと連動して引き出されます。
- 接続部に少しでも隙間があると、固定ナットが引き出しにくくなります。

③スタンドを上げる。



④自転車の前半分を反時計方向に回転させて折りたたみ、前後の車輪とハンドルを付属の締付けバンド(2本)で結束する。



**お願い**

- 前後の車輪が平行になるように、結束してください。
- 折りたたんだ状態での持ち運びは、自転車を両手でしっかり持ち、周囲の人、物に十分注意して行ってください。
- 前後の車輪とハンドルを結束する締付けバンドは長さが均等になるように締め付けてください。とめしろが少なくなると外れやすくなります。

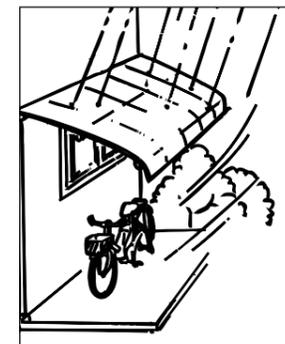
## 保管／廃棄

**■ 保管場所は、**

雨がかりにくい場所に保管してください。  
雨が掛かるところでは、市販の「サイクルカバー」のご使用をおすすめします。  
※長期保管後、再使用される場合は、販売店で点検・調整のうえ、ご使用ください。

**■ 廃棄するときは、**

自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。



おぼえのため、記入されると便利です。

販売店名	電話 ( ) -
品番	車体番号
防犯登録番号	キー番号

# お手入れ／注油について

## お手入れ

### ■日常のお手入れは、

- 乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
- がんだ汚れには、台所用洗剤(中性)を薄めてご使用ください。



### ■汚れがひどいとき

水洗いし乾燥させた後、各部に注油してください。  
注油禁止場所には注油しないでください。(☞ 29 ページ)

### ■塗装部(フレーム体など)

乾いた布でよく磨き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でふき取ってください。

### ■めっき部(ハブなど)

乾いた布でよくふいたあと、「さび止め油」か「ミシン油」でふき、余分な油をふき取ってください。

### ■樹脂部(ペダルなど)

乾いた布でほこりをとってください。

### ■湿気の多い所や海岸沿いは、

さびやすいので、お手入れの回数を、多くしてください。

### ■アルミリム使用車

雨天走行後は、リム側面のブレーキブロック接触面の砂や泥をふき取ってください。  
(黒く変色するのを防ぎます。)

### お願い

- シンナー等の有機溶剤は、使用しないでください。(塗装がはげたり、樹脂製部品が浸食されます。)
- サドルには、ワックスをかけないでください。(座ったとき衣服が汚れたり、すべります。)

### お知らせ

- 軽合金(アルミ)リムに、ブレーキブロックのゴムが付着する場合がありますが、性能には影響ありません。

## 注油について

### 警告

■リムやブレーキブロック(ゴム部)には、油をつけない

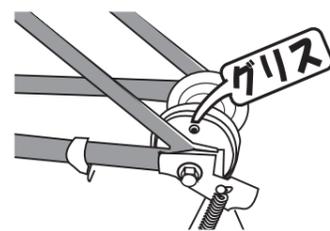


注油禁止



ブレーキが効かなくなり、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

■ブレーキグリスの補給には、ローラーブレーキ専用グリスを使用する



## 注油場所と注油禁止場所



このマークは、注油場所を示します。



このマークは、注油禁止場所を示します。

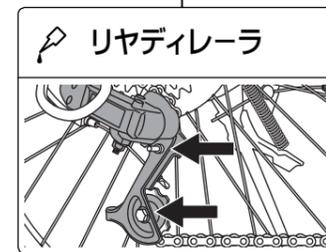
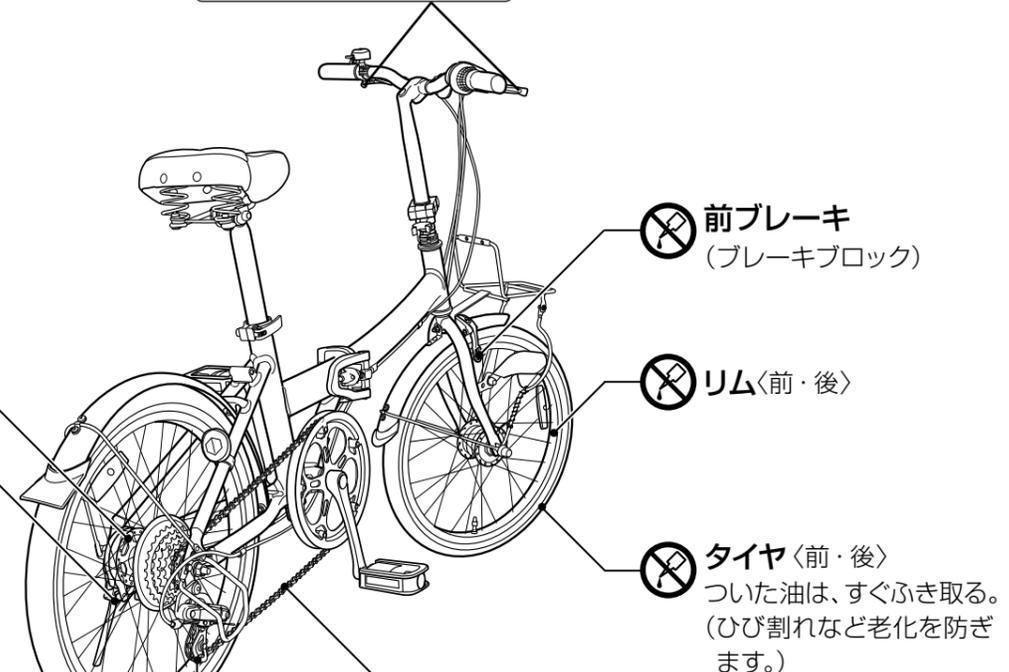
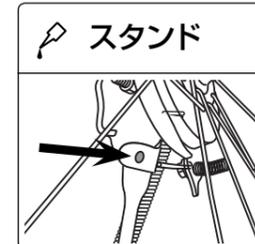
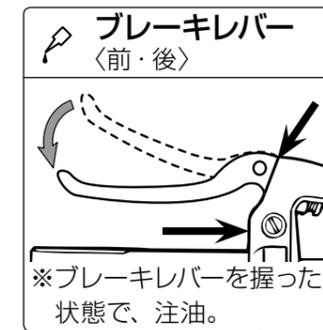
### お願い

- 油の種類は、必ず、自転車用油を使用してください。(食用油などは、硬化するおそれがあります。)
- 余分な油は、乾いた布でふき取ってください。



### お願い

- メンテナンスをする場合は専用グリスを使用してください。(☞ 18～19 ページ)



## 定期点検

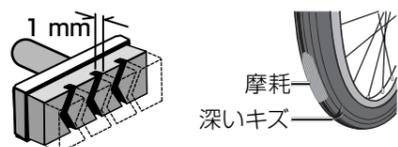
### 警告

#### 定期点検は、必ず実施する

異常や故障の発見がおくれ事故の原因になります。

#### 部品の交換は、次の基準で実施する

- ブレーキワイヤ・変速ワイヤは、異常がなくても2年に1回は、交換する。
- タイヤは、接地面(トレッド)の溝がなくなる前に交換する。
- ブレーキブロックは、溝の残りが、1mmになる前に交換する。
- ブレーキブロックは、リムにあった純正ブレーキブロックに交換する。



ブレーキが効かなくなったり、スリップのため転倒によるけがのおそれがあります。

点検と整備は、自転車の大切な健康診断です。いつまでも安全にお乗りいただくために、ご使用後初めての初回(2ヵ月目)点検と、6ヵ月毎の定期点検の実施をお願いします。

#### ●初回(2ヵ月目)の点検と整備

お買い求め2ヵ月位のご使用で、各部にねじのゆるみが出ることがあります。必ず、お買い求めの販売店または修理代行店で、自転車安全整備士、自転車技士(自転車組立整備士)、もしくはそれと同等の技術を有する者により点検・整備をお受けください。

#### ●2回目以降(6ヵ月毎)の点検と整備

安全にご愛用頂くため、必ず継続してお受けください。

### 愛情点検 定期点検をし、安全走行をしましょう!



こんな症状はありませんか

- 異常な音がる
- がたつきやゆるみ
- 車輪の振れ
- ブレーキの効きが悪い

事故防止のため、必ず販売店に点検・整備をご依頼ください。

## 盗難補償について

盗難補償制度とは、自転車をお買い上げいただいたお客様を対象に、ご購入日より1年以内に盗難にあわれた場合、盗難車の希望小売価格(税込)の60パーセントで、盗難車と同タイプの新車をお買い求めいただくことができる制度です。制度の詳細は下記の通りです。

ご購入時、保証書のお客様欄に必要事項をご記入され、盗難補償登録カードをご提出いただいたお客様に限り、次の内容により盗難補償がうけられます。

#### (1) 盗難補償の期間と範囲

お買い上げの日から1年間以内の自転車(別売部品等を含む装着部品の盗難は除く)かつ、盗難日より90日以内に申し込みいただいた場合に限りです。

#### (2) 盗難補償の申込み要領

万一、盗難にあわれた時は、自転車保証書と盗難にあった地区の警察署から交付を受けた証明になるもの(警察受理ナンバーまたは盗難届出証明書等)に、盗難車の希望小売価格(税込)の60パーセントの現金を添えて、お買い上げの販売店へお申し込みください。追って、販売店から新車をお渡します。

#### (3) 盗難補償できない場合

- イ. 施錠せず盗難にあった場合
- ロ. (2)の書類がそろわない場合
- ハ. 補償期間が過ぎている場合
- ニ. 盗難補償車が、再度、盗難にあった場合
- ホ. 防犯登録がされていない場合
- ヘ. 盗難車が見つかり、返ってきた場合
- ト. 景品などの贈呈品の場合

#### お知らせ

- 生産等の都合で、同タイプの自転車をお届けできない場合がありますことをご了承願います。
- 新車をお渡しした時点より、盗難車の所有権は弊社に帰属します。

## アフターサービスについて (修理を依頼されるとき)

#### ●保証期間中は、

お買い上げの販売店が、保証書の規定に従って、修理させていただきます。おそれいりますが、自転車に保証書を添えて、お買い上げの販売店までお持込みください。

#### ●保証期間が過ぎた後は、

お買い上げの販売店にご相談ください。

この自転車は (社) 自転車協会が定めた自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。

## 自転車安全基準

「自転車安全基準」は、(社) 自転車協会が JIS (日本工業規格) をベースに、DIN (ドイツ規格) など海外の規格やヨーロッパの環境負荷物質に関する規制 (RoHS 指令) を踏まえて、消費者の安全第一と環境負荷の低減を目的として定めた基準です。

## BAA マーク



「BAA マーク」は、自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車に、貼ることができるマークです。

「BAA マーク」は、自転車の立パイプに貼付されています。

※ BAA = 自転車協会認証—BICYCLE ASSOCIATION (JAPAN) APPROVED

## 取付けのポイント

- 安全にご乗車いただくため、必ず当社の純正部品をご使用ください。  
(当社の純正部品以外をご使用になり、不具合が生じた場合は、保証の対象外になります。)
- オプション部品の品番は都合により変更することがありますので、取付けの際に販売店にご確認ください。  
(掲載している品番は 2009 年 6 月 現在のものです。)
- 形状や価格等詳細については、販売店でご相談ください。
- この自転車に幼児用座席を取り付けることはできません。

リヤキャリア NCR1251 (黒電着)



**警告**

■積載条件から外れる荷物を積まない

- 高さ : 15 cm まで
- 長さ : キャリヤ長さまで
- 幅 : キャリヤ幅まで
- 重さ : 5 kg まで (クラス表示 10)

バランスを崩したり、ブレーキが効きにくくなり、転倒によるけがのおそれがあります。

バスケット NCB1664



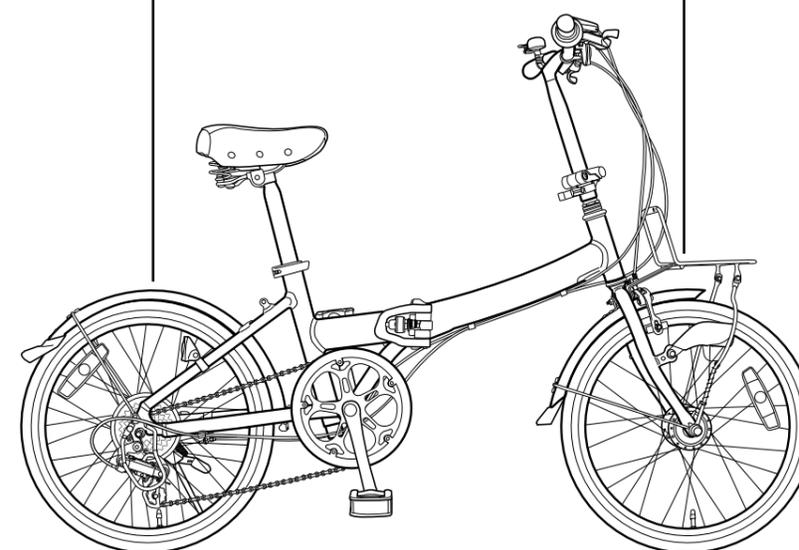
**警告**

■積載条件から外れる荷物を積まない

- (バスケット積載条件)
- 大きさ : バスケットにおさまる大きさ
- 重さ : 2 kg まで

バランスを崩したり、ブレーキが効きにくくなり、転倒によるけがのおそれがあります。

※オプションバスケットとリヤキャリアを同時装着した場合、折りたたみ時の幅寸法は大きくなります。



輪行バッグ



NAR059

※オプションバスケット装着時は、輪行バッグにおさめることはできません。

